

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公開番号】特開2008-93824(P2008-93824A)

【公開日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2007-257254(P2007-257254)

【国際特許分類】

B 25B 21/00 (2006.01)

B 25B 29/02 (2006.01)

【F I】

B 25B 21/00 C

B 25B 29/02

B 25B 21/00 530Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月30日(2009.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液圧媒体で付勢される液圧ピストンを備え、該液圧ピストンが、その液圧ピストンに作用する締付け力を被締付けボルトの端部に中間要素を介して伝達し、液圧ピストンおよび中間要素がケースで取り囲まれている液圧式締付け装置において、

締付け力を伝達する中間要素(14)が、その第1端部(18)で液圧ピストン(13)にねじ込まれ、第2端部(19)でボルト(11)にねじ込まれ、ケース(15)に、中間要素(14)の第1端部(18)に隣接して狭隘部(21)が、中間要素(14)の第2端部(19)に隣接して中間要素(14)の凹所(23)に係合する保持ピン(22)が、各々付設されたことを特徴とする液圧式締付け装置。

【請求項2】

締付け力を伝達する中間要素(14)が伸びナットとして形成されたことを特徴とする請求項1記載の締付け装置。

【請求項3】

ケース(15)が、液圧ピストン(13)と中間要素(14)とを取り囲むケース部分(16)と蓋(17)とを有し、該蓋(17)が保持ピン(24)を介してケース部分(16)に固定されたことを特徴とする請求項1又は2記載の締付け装置。

【請求項4】

ケース(15)とボルト(11)で締め付けるべき部品(12)との間に、ボルト(11)にねじ込まれたナット(16)を包囲する加圧部材(25)が配置されたことを特徴とする請求項1から3の1つに記載の締付け装置。